

エンジンオイル分析 ①

- ✓ エンジンオイル中のSoot混入率をリアルタイム計測
- ✓ エアレーション、気泡混入のリアルタイム計測

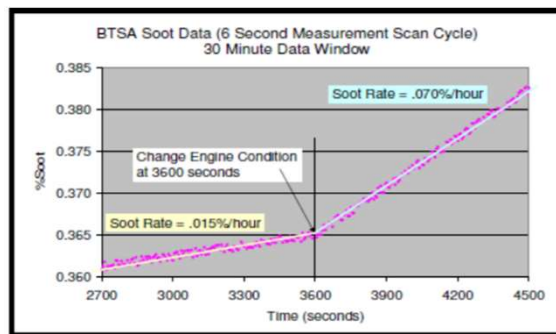
AEI社製 BTSA7.0

オイル中のSootはエンジン摩耗の原因となり、Soot混入率を測定することは必要不可欠な評価となっております。本装置では1つのエンジン運転条件あたり15分程度という計測時間を実現し、マッピングに要する時間とコストを大幅に削減することができます。エンジンからのダイレクトサンプリング方式を採用しているため、従来のバッチ方式と比較しスピーディー且つ高精度な計測結果を提供しています。

★BTSA 7.0概要

□仕様

サンプリング間隔：6秒毎
 精度：0.0002% soot
 0.002%/hour
 必要オイル量：約1.5L
 対応オイル温度：最大150℃



BTSA 7.0

DSi社製 Air-X/ Compact Air-X



Air-X

オイルの低粘度化は摩擦低減につながり、燃費改善やトルク損失の低減効果が期待される一方、気泡混入による部品摩耗や焼き付きリスクが増えると言われており、今後、エアレーション評価はますます重要な位置づけとなります。本装置は過渡的なエアレーションの変化に追従した計測が可能となり、より詳細な現象解明を実現致します。

□使用例

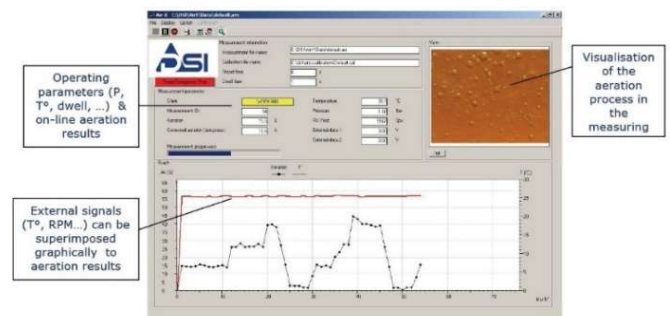
- ・エアレーション発生メカニズムの解明
- ・消泡材、オイル潤滑性特性、車両騒音性能評価
- ・エンジンオイル流路の最適化
- ・トランスミッションオイルやクーラント評価にも対応



Compact Air-X



Super Compact Air-X



計測ソフトウェア画面